



ラッピングを施した同社の天然ガストラック

越野運送

環境活動を積極推進

天然ガス車にラッピング施す

低炭素型の物流構築を目的に、荷主とのパートナーシップによる「グリーン物流」プロジェクトを手掛ける越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）。同プロジェクトに活用する天然ガス車両2台にラッピングを施し、「天然ガストラック配送による人と環境に優しい街づくりを越野運送は目指します」と記載し、企業イメージの向上とドライバーの意識

集約化に加えてモーダルシフトにも移行し、二酸化炭素排出量を削減。天然ガス車を使用することで環境負荷低減物流を推進する。同プロジェクトにより「ミルクラン方式物流」による燃油使用量の大幅な削減、「天然ガス

車」の使用による黒煙ゼロを実現。「モーターシフト」への移行による環境負荷物質の削減の効果が、越野社長は「従来と比べるとCO2は約70%削減が可能になった」と説明。

環境ISO取得を目指す

越野社長は「厳しい経済情勢もあり運賃単価の競争が激しいが、今回の環境に優しい物流の仕組みを当社の強みにしていく。その一つにラッピングが有効的と考えた」という。同社は2台、4台車を中心に天然ガス車やハイブリッド車を保有しており、「今後も代替え時には積極的に低公害車を探り入れた」という考え。また、安全性優良事業所（Gマーク）やグリーン経営、品質のISO9001を認証取得しているが、4月ごろに環境ISOの認証取得を目指し取り組んでいる。越野社長は「今回のプロジェクトは当社が単独で取り組んでも不可能で、皆様の協力なしで得たこと」と話し、「低炭素型物流という取り組みを専門職的に強く打ち出していきたい」と語る。（山田克明）

野菜・果物 事業拡大狙い 2台目導入

食品輸送をメインに展開するベストワーク（愛知県春日井市）の田口弘樹社長が立ち上げた、野菜や果物などを販売する新会社「旬果旬菜」が、2台目の移動販売車を導入。さらなる事業拡大を狙い、積極的な営業活動

旬果旬菜

